



玉名ロータリークラブ週報

2018
2019



インスピレーションになろう

RI 会長	■	バリー・ラシン
地区ガバナー	■	高山 泰四郎
会長	■	本田 正美
幹事	■	田中 雄三郎
公共イメージ向上・IT委員長	■	西嶋 興生

例会日 ■ 毎週木曜日 / PM12:30~13:30

例会場 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 50-1 司ロイヤルホテル内
TEL(0968)73-8888 FAX(0968)73-8008

事務所 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 540-1-102
TEL(0968)73-3399 FAX(0968)74-3939

平成 30 年 9 月 20 日 No.2404

玉名 RC メールアドレス jimu@tamanar.club

ホームページ <http://tamanar.club>

【来訪者紹介】

金栗四三 PR 推進室専門官

徳永 慎二氏



【会長の時間】本田会長

皆さんこんにちは。ロータリーの友9月号の中から私が気になった記事が有りました。ロータリーが日本に設立されたのが1920年(大正9年)10月20日だそうです。翌年1921年4月1日世界で855番目に東京ロータリークラブが承認されたそうです。

日本のロータリー100周年超私の奉仕に魂をスローガンに石黒慶一 RI 理事が言っておられます。その中で東京ロータリークラブ100周年行事の準備委員会の中に杉谷さんの名前が出てきたので大変驚きました。今回改めて杉谷さんの偉大さを知って玉名ロータリークラブに入れた事にとても光栄に思いました。

又日本のロータリアンでお祝いをと書いてありましたので当クラブにも案内があるのではないのでしょうか！日本のロータリークラブ100周年記念事業に何がしら参加してみたいと思います。

あとローターアクトクラブの事や、各クラブの表彰など色んな支援の仕方や日本に住んでいると分からない事などあります。その中でモロッコのことがありました。

モロッコの通学が平均 10 km だそうです。これが高い退学率の原因と書いてあり、まあ日本で考えるとありえないことではないでしょうか？なぜなら歩く速度の平均で時速 4 km で計算すると 2.5 時間かかり往復 5 時間、普通の人ならあきらめるのではないのでしょうか。

そこでモロッコの方々は自転車で通学しているそうです。昨年吉永会長の自転車寄贈したことはすごく良いことをしたのだと思い見直しました。私も今回ロータリーの友を読み会員の皆様にもおすすめいたします。最後の方には家族に優しいロータリーと書いて有りました。

又 10 月 24 日は 6 回目の世界ポリオデーのイベントだそうです、世界ポリオ撲滅推進活動 (GPEI) の 30 周年を、始まりの地フィラデルフィアで祝うそうです。

【幹事報告】田中幹事

- 熊本中央 RC より、例会変更が来ています。日時：10 月 19 日（金）
チャリティゴルフコンペへ移動例会。7：30～例会及び開会式、7：45～スタート
場所：あつまるレークカントリークラブ
- 熊本東 RC より例会変更が来ています。10 月 2 日（火）12：30～「親睦例会」を変更。
日時：10 月 6 日（土）18：30～、場所：廣徳寺（こうとくじ）
- 熊本南 RC より例会変更のお知らせが来ています。10 月 22 日（月）12：30～を
日時：10 月 22 日（月）18：30～、場所：ホテル日航熊本 7F「ガーデンバンケット」
- 式内社・旧県社 疋野神社 例大祭 御参列のご案内が来ています。
日時：10 月 15 日（月） 10：00 よりご本祭 献幣の儀
- 玉名市青少年育成市民会議より玉名市青少年育成市民会議賛助金の納入のお礼が来ています。
- 荒尾 RC より、荒尾 RC 創立 40 周年記念式典のお礼が来ています。
- 玉名 RAC 例会報が来ています。

【スマイル報告】大石委員長

本田会長・田中幹事・・・徳慎二様ご来訪心から歓迎します。金栗四三の卓話この後楽しみにしています。
中嶋さん・宮本さん・田原さん・・・徳永様の卓話、ありがとうございます。徳永さん本日は、金栗四三様卓話よろしくお願ひします。来年 NHK で放映される、いだてんでご苦労されてると聞いています。今日は、よろしくお願ひします。

田畑さん・・・徳永慎二様ご来訪心から歓迎します。卓話ありがとうございます。

松崎さん・西嶋さん・鶴田さん・深見さん・小山さん・渡邊太さん・吉田光さん

吉田彰さん・坂梨さん・山田司さん堀本さん大石さん・・・徳永慎二様ご来訪心から歓迎します。

村上さん・・・徳永慎二様の卓話、ありがとうございます。お父さんとは玉名 CC のキーパーとして、活

躍されてました大変お世話になってました。

杉谷さん・・・急な会議があり、欠席します。申し訳ありません。

吉岡さん・・・有明海沿岸道路の海岸陳情活動で出張の貯め欠席します。

古賀さん・・・申し訳ありません。欠席します。

前回までの累計 ￥251, 000

今 回 ￥ 23, 000

合 計 ￥274, 000

【出席報告】大石委員長

本日の出席	会員数	50 (44) 名	欠席者	福田 浜田 井上 古賀 村田 前田 野田 西田 志賀 上村 上田継 山田邦 山口 山村 吉岡
	出席数	29 名		
	出席率	65.91%		
前回の出席	前回出席数	31 名	前回の メイクアップ	井上 坂梨
	修正出席数	33 名		
	修正出席率	75.00%		
出席規定適用免除者		8 名		

【今後のプログラム予定】

9月27日(木)夜例会 炉辺塾 田原豊昭会員

場所：さつき別荘

【本日のプログラム】

金栗四三 PR 推進室専門官

徳永 慎二様 卓話

玉名市の名誉市民で日本初の五輪選手である金栗四三氏がNHKの2019年大河ドラマ

「いだてん～東京オリンピック囃～」の主人公のひとりに選ばれました。

日本が初参加した1912年のストックホルム五輪から1964年の東京五輪までの激動の52年間の描かれます。

1912年のストックホルム大会に参加した2人の日本人のうちの1人が玉名市出身の金栗氏です。マラソン競走に出場した金栗氏は惜しくも完走を果たせず、「消えたオリンピック選手」として今でもスウェーデンで語られています。

2012年7月にストックホルムで100周年の記念行事があり、顕彰銘板の除幕式と金栗氏のひ孫にあたる蔵土義明氏を招待した「100周年記念マラソン大会」も開催。金栗氏はのちに「日本マラソンの父」として称えられ日本マラソン界に大きな影響を与えすばらしい功績を残しています。

金栗四三は、1891(明治24)年、玉名郡春富村(現和水町)の造り酒屋に誕生しました。のち22歳で玉名郡小田村(現玉名市)池部家の養子となります。10歳で玉名北高等小学校(現南関町)に入学。往復12キロメートルの道のりを毎日走って通学したそうです。その後、旧制玉名中学校(現玉名高校)を優秀な成績で卒業。東京高等師範学校(現筑波大学)に進学して徒歩部に入り才能を見いだされます。

1911(明治44)年に開催されたオリンピック国内予選会で見事優勝。第5回オリンピックストックホルム大会(スウェーデン)でのメダル獲得が期待されました。

1912(明治45)年7月14日午後1時48分、ストックホルムでマラソン競走が始まりました。コースはカーブや上り下りが多い難しいコースなうえ、気温は30度を超える猛暑とあつて選手にとっては大変厳しい条件でした。

そんな中、スタートこそ出遅れるも17位まで順位を上げる金栗でしたが、折り返し地点を過ぎてまもなく急激な疲労が彼を襲います。懸命に力をふりしぼって走り続けようとしますが体がいうことをききません。頭の中がボーツとしてかすみはじめとうとう26.7キロメートル地点でコースをはずれ林の中に消えてしまいました。



第5回オリンピック ストックホルム大会開会式入場行進でプラカードを持つ金栗四三



ストックホルムでは「消えたオリンピック走者」として語られることとなりました。この時、コースをはずれた金栗は農家のペトレ家に保護・介抱されていました。

金栗はストックホルム・マラソン翌日の日記に「大敗後の朝を迎う。終生の遺憾のことで心うずく。余の一生の最も重大なる記念すべき日なりしに。人笑わば笑え。これ日本人の体力の不足を示し技の未熟を示すものなり。その恥をすすぐために粉骨砕身してマラソンの技を磨き、もって皇国の威をあげん」

オリンピック出場で見た世界のスポーツ競技水準に、金栗は日本でもスポーツを広めなければならないと決意します。女子体育の振興をはじめ、箱根駅伝など駅伝大会を企画。また故郷に帰ってからは、熊本県体育協会をつくり、初代会長として県体育界をリードしました。



ストックホルムオリンピックから 55 年後の昭和 42 年、金栗のもとにストックホルムオリンピック委員会から 1 通の手紙が届きました。それはオリンピック 55 周年記念行事の一環として招待したいという内容でした。同年 3 月 20 日、金栗は 55 年ぶりにストックホルムの空港に降り立ちました。オリンピック委員会は、金栗が行方不明となって果たせなかったオリンピックのゴールインを、祝賀行事で行うことを計画。スタジアムに正式なゴールテープを用意していました。75 歳の金栗は両手をあげてゴールテープを切りました。

そのとき会場に「日本の金栗四三選手、ただいまゴールインしました。タイム 54 年と 8 ヶ月 6 日 5 時間 32 分 20 秒 3、これをもちまして、第 5 回ストックホルムオリンピック大会の全種目を終了いたします」とアナウンスが流れ、会場は大きな拍手に包まれました。

金栗は「長い道のりでした。その間に嫁をめとり、子供 6 人と孫 10 人ができました」と語りました。この記録は、世界で最も遅いマラソン記録として語られています。

金栗は、期待を背負って出場したオリンピックで結果を残せませんでした。しかし国際大会への参加から得た教訓を生かし、その後の人生をマラソン界の発展と日本スポーツの基礎を築くことに奔走しました。「体力・気力・努力」の精神のもと、誰もがスポーツを楽しむ日本をつくることに生涯をかけました。その後、金栗四三は 1983 (昭和 58) 年、92 歳で永眠しました。

